

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成23年8月11日

【四半期会計期間】 第68期第1四半期(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

【会社名】 能美防災株式会社

【英訳名】 NOHMI BOSAI LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 橋爪 毅

【本店の所在の場所】 東京都千代田区九段南四丁目7番3号

【電話番号】 03(3265)0216

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 荒井 一

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区九段南四丁目7番3号

【電話番号】 03(3265)0216

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 荒井 一

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第67期 第1四半期 連結累計期間	第68期 第1四半期 連結累計期間	第67期
会計期間	自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高 (百万円)	15,001	15,100	79,951
経常利益又は経常損失( ) (百万円)	536	1	3,295
当期純利益 又は四半期純損失( ) (百万円)	306	12	1,866
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	383	77	1,708
純資産額 (百万円)	51,788	52,997	53,398
総資産額 (百万円)	77,956	79,202	80,390
1株当たり当期純利益金額又は 四半期純損失金額( ) (円)	5.08	0.21	30.92
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	65.0	65.5	65.1

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第67期第1四半期連結累計期間及び第68期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。第67期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第67期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による生産や輸出への影響や電力供給問題などにより、景気の先行きは極めて不透明な状況となりました。

当防災業界におきましても、震災の影響から民間設備投資の弱い動きが続いたことなどを受けて、さらに厳しい経営環境となっております。

このような環境のなか、当社グループは積極的な営業活動に努めました。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は15,100百万円（前年同四半期比0.7%増）となりました。

売上高の内訳をセグメント別にみますと、火災報知設備は5,253百万円（前年同四半期比11.3%減）、消火設備は4,726百万円（前年同四半期比12.7%増）、保守点検等は4,161百万円（前年同四半期比8.1%増）、その他は960百万円（前年同四半期比7.2%減）となりました。

利益につきましては、厳しい環境ながらも業務の効率的運用をはかることで前年同四半期に比べ改善し、営業損失は76百万円（前年同四半期は営業損失630百万円）、経常損失は1百万円（前年同四半期は経常損失536百万円）、四半期純損失は12百万円（前年同四半期は四半期純損失306百万円）となりました。

なお、当社グループの売上高は建設業界の影響を受ける部分が多いため、下期、特に第4四半期に集中する傾向があります。

#### (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における総資産につきましては、未成工事支出金1,762百万円の増加、現金及び預金1,197百万円の増加等があったものの、受取手形及び売掛金5,072百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ1,187百万円減少し、79,202百万円となりました。

負債につきましては、流動負債は753百万円の減少、固定負債は32百万円の減少となり、負債合計は前連結会計年度末に比べ785百万円減少し、26,205百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払い等により、前連結会計年度末に比べ401百万円減少し、52,997百万円となりました。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は371百万円であります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	160,000,000
計	160,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年8月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	60,832,771	60,832,771	東京証券取引所 (市場第一部)	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は1,000株であります。
計	60,832,771	60,832,771		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日		60,832		13,302		12,743

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成23年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 369,000		単元株式数 1,000株
完全議決権株式(その他)	普通株式 60,144,000	60,144	単元株式数 1,000株
単元未満株式	普通株式 319,771		1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	60,832,771		
総株主の議決権		60,144	

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権1個)含まれております。

【自己株式等】

平成23年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 能美防災株式会社	東京都千代田区 九段南4丁目7番3号	369,000		369,000	0.61
計		369,000		369,000	0.61

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,297	20,494
受取手形及び売掛金	24,888 <sup>2</sup>	19,815 <sup>2</sup>
有価証券	2,000	2,000
商品及び製品	2,550	3,293
仕掛品	1,037	965
原材料及び貯蔵品	3,496	3,671
未成工事支出金	3,430	5,192
その他	2,104	2,425
貸倒引当金	259	243
流動資産合計	58,545	57,616
固定資産		
有形固定資産	12,377	12,265
無形固定資産		
のれん	64	60
その他	1,411	1,318
無形固定資産合計	1,476	1,379
投資その他の資産		
投資有価証券	2,969	3,001
その他	5,188	5,100
貸倒引当金	167	159
投資その他の資産合計	7,990	7,941
固定資産合計	21,844	21,586
資産合計	80,390	79,202
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,763	9,052
短期借入金	33	34
未払法人税等	1,089	158
賞与引当金	2,357	3,061
完成工事補償引当金	38	38
工事損失引当金	379	445
その他	7,978	7,097
流動負債合計	20,641	19,888
固定負債		
退職給付引当金	5,328	5,301
役員退職慰労引当金	598	592
資産除去債務	15	15
負ののれん	6	5
その他	402	403
固定負債合計	6,350	6,317
負債合計	26,991	26,205

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,302	13,302
資本剰余金	12,745	12,745
利益剰余金	26,510	26,044
自己株式	246	247
株主資本合計	52,312	51,844
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	110	129
為替換算調整勘定	98	58
その他の包括利益累計額合計	11	70
少数株主持分	1,074	1,081
純資産合計	53,398	52,997
負債純資産合計	80,390	79,202



## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	15,001	15,100
売上原価	10,904	10,501
売上総利益	4,096	4,599
販売費及び一般管理費	4,727	4,676
営業損失( )	630	76
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	15	19
保険返戻金	15	-
負ののれん償却額	2	1
持分法による投資利益	7	23
その他	99	72
営業外収益合計	146	123
営業外費用		
支払利息	1	1
賃貸費用	14	14
売上割引	16	15
為替差損	9	12
その他	11	4
営業外費用合計	52	47
経常損失( )	536	1
特別利益		
負ののれん発生益	-	16
前期損益修正益	32	-
貸倒引当金戻入額	33	-
特別利益合計	65	16
特別損失		
固定資産処分損	10	3
投資有価証券評価損	-	2
特別損失合計	10	5
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	481	8
法人税等	199	18
少数株主損益調整前四半期純損失( )	281	9
少数株主利益	24	3
四半期純損失( )	306	12

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	281	9
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	125	19
為替換算調整勘定	25	67
持分法適用会社に対する持分相当額	1	0
その他の包括利益合計	101	86
四半期包括利益	383	77
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	418	46
少数株主に係る四半期包括利益	35	30

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年6月30日)	
税金費用の算定方法	税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年6月30日)	
当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対して、債務保証を行っております。

前連結会計年度 (平成23年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)	
Unitech Nohmi Fire Protection System Pvt.Ltd.	33百万円 (INR17,734千)	Unitech Nohmi Fire Protection System Pvt.Ltd.	35百万円 (INR19,274千)
能美保利(北京)智能技術有限公司	0 〃 (CNY24千)		
計	33百万円		35百万円

2 手形割引高及び裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
受取手形裏書譲渡高	31百万円	56百万円

(四半期連結損益計算書関係)

1 売上高の季節的変動

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

当社グループの売上高は、通常の営業形態として第4四半期連結会計期間の売上高が他の四半期連結会計期間と比較して多くなる傾向にあります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
減価償却費	347百万円	389百万円
のれんの償却額		4 "
負ののれんの償却額	2 "	1 "

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成22年6月25日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	453	7.5	平成22年3月31日	平成22年6月28日

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	453	7.5	平成23年3月31日	平成23年6月27日

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	火災報知 設備	消火設備	保守点検等	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,923	4,191	3,851	13,966	1,034	15,001		15,001
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	14		32	45	77	77	
計	5,941	4,206	3,851	13,998	1,079	15,078	77	15,001
セグメント利益	4	133	303	442	65	507	1,138	630

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駐車場設備、防犯設備等を含んでおります。

- 2 セグメント利益の調整額 1,138百万円は全社費用であります。  
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
- 3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	火災報知 設備	消火設備	保守点検等	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,253	4,726	4,161	14,140	960	15,100		15,100
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	13		23	47	71	71	
計	5,263	4,740	4,161	14,164	1,007	15,172	71	15,100
セグメント利益	94	571	396	1,062	19	1,082	1,159	76

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駐車場車路管制システム等を含んでおります。

- 2 セグメント利益の調整額 1,159百万円は全社費用であります。  
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
- 3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、火災報知設備で16百万円の負ののれん発生益を計上しております。これは、当社連結子会社である八洲防災設備(株)の株式の一部を取得したことにより発生したものであります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額( )	5円8銭	21銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額( )(百万円)	306	12
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純損失金額( )(百万円)	306	12
普通株式の期中平均株式数(株)	60,353,281	60,338,189

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年 8月11日

能美防災株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 森 俊 哉 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 丸 田 健 太 郎 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている能美防災株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、能美防災株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。